

平成20年度 “宝くじスポーツフェア”
ドリーム・ベースボール～名球会・OBクラブがやって来る～実施要綱

1 趣旨

日本プロ野球名球会及び社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）の会員の元プロ野球選手による開催地チームとの親善試合、野球教室等を全国各地で行い、もって青少年の健全な育成と長寿社会に対応した明るいまちづくりに資するとともに、これらの事業を通じて宝くじの普及広報を行う。

2 実施方法

(1) 事業の名称

この事業の名称は“宝くじスポーツフェア”ドリーム・ベースボール～名球会・OBクラブがやって来る～という。

(2) 開催

この事業は、平成20年度においては全国15地方公共団体で開催する。

(3) 開催地

(財)自治総合センターが開催希望の都道府県と協議して定める。

(4) 主催者

開催地の都道府県・市町村、(財)自治総合センター

(5) 協力

日本プロ野球名球会、社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）

(6) 時期

4月から11月までの期間内における日曜日、祝祭日を含む2日間（2日目が休日になるように設定）

(7) 会場

- ・野球場（概ね2,000席以上の内野席を有するもの）
- ・講演会場（野球場に隣接したおおむね300人程度収容可能な屋内施設）
- ・体育館（雨天会場、野球場に隣接した概ね1,000席の観客席を有するもの）

3 事業の内容

(1) 名球会指導者クリニック（120分）

- ・講師/名球会会員3名
- ・対象/野球チーム指導者等
- ・人数/100～200名程度

(2) 少年少女ふれあい野球教室（おおむね120分）

- ・対象/小学生・中学生（チーム単位で参加）
- ・人数/500名程度
- ・教室を始める前に記念撮影を行う

(3) ふれあい講演会（60分）

- ・講演者/名球会代表または全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）の代表
- 近隣に適切な講演会場がない場合に限り、講演会実施の有無を選択できるものとする。

(4) ドリーム抽選会（15分）

- ・対象/観客
- ・賞品/出場選手のサイン入りバット・グローブ・ボール等

(5) アトラクション（30分）

- ・プロ（開催地出場者が元プロ野球投手、打者に挑戦する）
- ・ホームラン競争（地元との対抗戦）

- (6) ドリーム・チームと開催地との親善試合「ドリーム・ゲーム」
 (7回戦・ただし90分を越えたら新しいイニングには入らない)
 ・資格/開催地住民及び関係者による選抜チーム(中学生及び高野連に所属する高校生は除く)
 ・球種/使用球は軟式ボールとする。
 ドリーム・チームは名球会と全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)で構成する。

4 出場予定選手

日本プロ野球名球会から8名、全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)から16名の計24名を予定。

5 日程

(1日目)	(2日目)
15:00 - 名球会指導者クリニック ~ ク 17:00	9:30 - 記念撮影 ~ 少年少女ふれあい野球教室 11:45
	10:30 - ふれあい講演会 ~ (野球教室とは別会場) 11:30
	12:00 - ドリーム抽選会 ~ 12:15
	12:30 - 開会式 ~ 12:50
	13:00 - アトラクション ~ 13:30 - ドリーム・ゲーム ~ ゲームセット - 閉会

6 経費

この事業の実施に要する経費は、原則として(財)自治総合センターが負担するが、次の7の業務に要する経費は開催地の負担とする。

7 開催地の主たる業務

- (1) 会場及び付帯施設、設備の提供と運営
- (2) 音響設備の設置
- (3) 運営スタッフの提供
- (4) 参加者、出場者の募集と管理
- (5) 開催告知及び観客の動員
(ただし、告知用のポスター、チラシは、自治総合センターで作成し、提供する。)
- (6) 選手等の送迎(最寄り駅あるいは空港から宿泊地の間等)
(ただし、2日間の選手送迎用のバス2台分は、自治総合センターにおいて負担、それ以外は、開催地の負担とする。)
- (7) 選手、スタッフの昼食等手配

8 事業の実施

開催地の都道府県及び市町村は、この事業が円滑に実施されるよう積極的に協力するものとする。特に、広報誌への掲載、ポスター・チラシの掲示、配布等事業の周知宣伝を行い、会場を満員にするよう努力するものとする。

9 宝くじの普及広報

主催者は、開催会場及び関係印刷物に宝くじに関する表示をする等宝くじの普及広報を行うものとする。

日本プロ野球名球会

1978年発足。金田正一氏(元国鉄 巨人)、長嶋茂雄氏(元巨人)、王貞治氏(元巨人)の提唱で誕生した昭和生まれのプロ野球選手とOBで、日米通算の記録が投手では200勝または250セーブ、打者が2000本安打以上が参加資格。現在会員は47人。

《投手》

稲尾和久	金田正一	北別府学	工藤公康	小山正明
佐々木主浩	鈴木啓示	高津臣吾	東尾 修	平松政次
堀内恒夫	村田兆治	山田久志	米田哲也	

《打者》

秋山幸二	新井宏昌	有藤通世	石井琢朗	江藤慎一
王 貞治	大島康徳	加藤英司	門田博光	衣笠祥雄
清原和博	駒田徳広	柴田 勲	鈴木一朗	高木守道
立浪和義	田中幸雄	土井正博	長嶋茂雄	野村克也
野村謙二郎	張本 勲	広瀬叔功	福本 豊	藤田 平
古田敦也	松井秀喜	松原 誠	谷沢健一	山内一弘
山崎裕之	山本浩二	若松 勉		

(平成19年7月24日現在 五十音順)

社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ)

1994年日本プロ野球OBクラブとして発足。1998年社団法人として認可。現在、大沢啓二氏(元南海)を理事長に、元プロ野球選手・審判他会員約1,700名が在籍。